

令和2年8月23日  
今週のベストショット



雁レクA 三友クラブ 対 奈多サンデーズ  
三友クラブを引っ張る若き面々  
左から坂本（歩）、坂本（結）、平田、中内、柴田選手  
写真：奈多フェニックス 能丸 英和

雁レクA 三友クラブ・・・三人の継投で見事に勝利！！

三友クラブ (2勝3敗) 003000 3 矢野、柴田○、平田一鳥山  
奈多サンデーズ (2勝3敗) 011000 2 古賀(開) ●一野々下

HR：坂本（結）(三友ク) 2BH：野崎(奈多サ) 盗塁：坂本（歩）、松尾（三友ク）

各チーム残り試合が1試合になり、2勝2敗のチームが4チームと混戦のBグループ。勝って決勝トーナメント進出に望みをつなげたい奈多サンデーズとリーグ最終戦を勝利して終わりたい三友クラブの対決。初回は両チームともランナーを出すものの無得点。試合が動いたのは二回裏、一死からサンデーズ六番野崎選手が二塁打で出塁すると、続く近藤（崇）選手がライトヘタイムリーヒットを放ちサンデーズが先制。追いつきたい三友クラブは一死から平田選手、坂本（歩）選手の連続ヒット、さらに相手バッテリミスで一死二三塁のチャンスを作ると、三番の坂本（結）選手がライトへ逆転の3ランを放ちすぐさま逆転。その裏、やられたらやりかえすとばかりに先頭の川原選手が代わったばかりの柴田投手からセンター前ヒットで出塁すると、二番宮口選手のライト前ヒットで1点を返す。さらに二死一二塁と逆転のランナーを出すも柴田投手が踏ん張り最小失点で切り抜ける。その後も両チームランナーを出すものの得点を奪う事ができずゲームセット。両チーム合わせてヒットが9本と、とても締まった試合でどちらが勝ってもおかしくない好ゲームでした。（記事・写真：奈多フェニックス 能丸 英和）



プレイボール。



奈多サンデーズ先発の古賀 開投手。



三友クラブ先発の矢野投手。



先制の足掛かりとなるヒットを打つ野崎選手。



見事なバントで出塁する三友クラブ坂本（歩）選手。



逆転3ランを放った坂本（結）選手を迎え入れるベンチ。



二番手で登板の三友クラブ柴田投手。



セーフティーバントで出塁する奈多サンデーズ川原選手。



最終回、三番手で登板した平田投手。



決勝の3ランを打った坂本（結）選手。

### 青松園A 12安打8得点で逆転勝を呼び込んだソルトベイスターズ

ソルトベイスターズ（2勝3敗）40031 8 酒井○ー山ノ川

塩浜ジャガーズ（1勝4敗）15000 6 内田●ー狩野

HR：井浦（ソルト） 2BH：井浦、酒井（ソルト） 荒木（塩浜ジ） 盗塁：池内（塩浜ジ）

昨日の雷雨で少し涼しさを感じる8月下旬ですが、コロナの終息はまだまだ見えていません。今日もソーシャルディスタンスを維持しつつ試合が開始されました。一回表、ソルトベイスターズの攻撃は、簡単に一死をとられるが、相手遊撃手の連続失策により二塁のチャンスで絶好調の四番井浦選手に打順が回ってきた。するといきなりBグラウンドベンチに飛び込む特大3ランが飛び出し3点を先制。この際、Bグラウンドのベンチにいたウインズ選手の背中にボールが直撃したが、幸いにも怪我に繋がらず事なきを得た。その後、試合は続行され連続ヒット等で1点を追加。その裏、ジャガーズもソルト酒井投手の立ち上がりを攻め、四球等でチャンスを作るが、五番の荒木選手のタイムリー二塁打の1点のみ。しかしジャガーズは三回裏、なかなか安定しない酒井投手からまたもや四球等でチャンスを作り、立石選手や荒木選手のタイムリーで得点を重ね、一気に逆転に成功。この時、流れはジャガーズに傾きかけたように思えた。だが、ソルトベイスターズには絶好調の井浦選手がいる。四回表一死ながら井浦選手が鋭いライナー性の辺りをライトへ運ぶ二塁打としチャンスを作る。すると後続の酒井選手がしっかりタイムリー二塁打を放ち1点差に詰め寄った。更に九番の坂井選手が2点タイムリーを放ち、逆転に成功。ソルトベイスターズは五回表にも井浦選手のヒットをキッカケにきっちり得点に結びつけ、勝利をものにした。今日の試合を振り返ると、11四死球と安定性に欠けていた酒井投手を攻めきれず、完投勝利を奪われた塩浜ジャガーズ打線と3ランを含む猛打賞と要所要所でのチャンスメイクした井浦選手が特に印象に残った。（写真・記事：三笥フレンズ 肥喜里 一征）



一回表、Bグラウンドベンチ直撃の特大3ランを放つ井浦選手。



井浦選手の特大HRで災難を浴びたウインズベンチ。



守備交代後即座に好フィールディングを見せる立石選手。



二回表、セカンドゴロを処理する池内選手。



強烈なゴロに俊敏な守備をする山口選手。



二回裏、痛いデットボールを浴びる内田選手。



スチールを決める池内選手。



本日も本塁打含む3安打3打点の大活躍の井浦選手。



四回表、タイムリーツーベースを放った酒井選手。



四回表、逆転の2点タイムリーを放った坂井選手。



五回裏、軽快な守備を見せる大門選手。



完投勝利をものにした酒井投手。

### 奈多グラウンド ホーネッツの強力打線炸裂！ライナース終盤反撃も及ばず！

雁の巣ライナース（2勝3敗）0000210 3 有馬●ー有田

三苫ホーネッツ（4勝1敗）613000X 10 矢野○ー広木

HR：有田（雁の巣）3BH：山崎（三苫木）2BH：三浦、堺（恭）（三苫木）

一回裏三苫ホーネッツは、四番広木選手のセンターへの犠牲フライ、五番西村選手のライト前タイムリー、九番山崎選手の三塁打など打者一巡で6点を挙げ主導権を握る展開となった。二回裏ホーネッツ広木選手の内野ゴロの間に三塁ランナー生還し、小刻みに1点を追加。三回裏ホーネッツ七番三浦選手の右中間二塁打、続く堺（恭）選手も右中間二塁打を放ち3点を追加。雁の巣ライナースは五回表、七番国崎選手のレフト前タイムリー、続く八番中野選手もレフトへのタイムリーで反撃の2点を挙げた。続く六回表、ライナース三番有田選手がライトへソロHRを放つも反撃はここまで。ライナースは終盤の反撃こそあったが、序盤の10失点が大きかった。ホーネッツの自慢の強力打線が目立った試合だった。（記事：奈多クラブ 今林 俊己、写真：阿部 慶彦）



試合前の両チーム監督の握手。



三苫ホーネッツ先発の矢野選手。



一回表、ライナーズ明瀬選手がヒットで出塁するも無得点。



雁の巣ライナーズ先発の有馬選手。



一回裏、センターへ特大の犠牲フライを放つホーネッツ広木選手。



五回表、有馬選手がコールドを阻止するホームイン。



六回表、追加点となるHRを放ったライナーズ有田選手。

## 青松園B 新町ウインズが接戦を制し逆転勝利！

和白新町パイレーツ（2勝3敗）003010 4 川原●—大濱

新町ウインズ （3勝2敗）10013X 5 藤田○—永渕

3BH：吉田（新町パ）永渕（新町ウ）盗塁：今泉、庄村、川原（新町パ）桐島（新町ウ）

一回裏新町ウインズは、二番永渕選手がヒットで出塁すると、続く桐島選手もヒットで続きワイルドピッチの間に1点を先制する。三回表和白新町パイレーツは、先頭の今泉選手がレフトのエラーで二塁まで進むと、ワイルドピッチの間に三進、四番庄村選手が四球を選び一三塁として、五番吉田選手が2点タイムリー三塁打を放ち逆転する。更に吉田選手がワイルドピッチの間に生還し突き放す。点差を縮めたいウインズは四回裏、先頭の今林選手がセンター前で出塁すると、相手のミスの中に本塁へ生還し1点差に縮めるも逆転には至らず。五回表パイレーツは四番庄村選手、五番吉田選手と連続ヒットでチャンスを作ると、ワイルドピッチの間に庄村選手が生還し、また3点差に突き放す。五回裏、何とか逆転したいウインズは、一死から一番泉選手が四球、二番永渕選手が三塁打を放ち点差を縮めると、四番柴田選手のセンター前タイムリーで永渕選手が生還し、打った柴田選手もセカンドへ進塁。続く藤田選手が四球を選びチャンスを広げ、この試合2安打を放っている六番吉浦選手に打順が回る。すると見事に期待に応えるライト前タイムリーヒットを放ち逆転に成功。六回表何とか追い付きたいパイレーツは、今村選手が四球も選ぶも後続が続かず試合終了となった。両チームともバッテリーエラーが得点に絡むことが多かったが、後半のチャンスを物にしたウインズが逆転勝利を収めた。

（記事・写真：三苦三球会 半田 晃大）



両チームライン上での挨拶で試合開始。



新町ウインズ先発の藤田投手。



和白新町パイレーツ先発の川原選手。



三回表、三塁打を放ったパイレーツ吉田選手。



五回裏、三塁打を放ったウインズ永瀨選手。



活躍した吉浦選手（左）、永瀨選手（中）、藤田選手（右）。